

平成28年度第1回行政監査結果報告書（概要）

第1 監査実施概要

I 監査テーマ（P1）

「観光振興と都市交流事業について」

II 監査テーマ選定の趣旨（P1）

区は、板橋区への観光者を増やすことにより、地域の活性化を図るため、「もてなしの心」による魅力ある観光振興と都市交流を推進している。

いたばし花火大会や板橋区民まつり等の魅力を高めるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、外国人を含めたさらなる誘客の促進を図り、異なる文化にふれる機会を拡充する観光振興への取組を進めることが大切である。

また、日光市、金沢市、大船渡市との都市交流をさらに進めるためには、文化や産業など幅広い分野において交流を深めることが重要である。

そこで、平成28年度第1回行政監査では、区の観光振興施策は計画的に行われているか、区の観光振興施策及び都市交流事業に関する区内外への情報発信は、効果的に行われているか、区の観光振興施策及び都市交流事業に係る関係課・関係機関との連携は図られているかなどの観点から検証を行った。

III 監査の着眼点（P1）

- 1 区の観光振興施策は計画的に行われているか。
- 2 区の観光振興施策及び都市交流事業に関する区内外への情報発信は、効果的に行われているか。
- 3 区の観光振興施策及び都市交流事業に係る関係課・関係機関との連携は図られているか。

IV 監査対象及び監査対象課（P2）

- 1 監査対象
観光振興及び都市交流に関する事業
- 2 監査対象課
産業経済部 暮らしと観光課

V 監査実施期間（P2）

平成28年5月31日（火）～平成29年2月6日（月）

第2 監査結果

I 現況と問題点 (P3)

- 1 区の観光を取り巻く概況 (P3)
- 2 観光振興施策 (P7)
- 3 都市交流事業 (P35)

II 検討・改善を求める事項 (P43)

着眼点1 区の観光振興施策は計画的に行われているか。

1 産業観光の活性化 (P20)

くらしと観光課は、産業観光の魅力を高めるための方策を検討し、見学受入れ企業と来訪者の拡大を図り、産業観光事業の活性化に取り組む必要がある。

2 観光案内標識のユニバーサルデザイン化と案内機能の充実 (P34)

今後は、観光案内標識の多言語による外国語表記やピクトグラム表示等のユニバーサルデザイン化を進めるとともに、スマートフォンを活用した観光案内機能の充実を検討していくことが必要である。

着眼点2 区の観光振興施策及び都市交流事業に関する区内外への情報発信は、効果的に行われているか。

1 ICTの活用 (P13)

くらしと観光課は、総合観光情報サイトの開設やSNS等を含むICTの積極的な活用により、より一層効果的に情報発信する仕組みを構築することが必要である。

着眼点3 区の観光振興施策及び都市交流事業に係る関係課・関係機関との連携は図られているか。

1 共催事業における透明性の向上

(1) 区民まつり (P23)

区民まつりの決算については、観光協会から区に報告されているが、くらしと観光課は、会計の透明性を高めるため、広く区民に公表することが必要である。

(2) いたばし花火大会 (P27)

いたばし花火大会の決算については、観光協会から区に報告されているが、くらしと観光課は、会計の透明性を高めるため、広く区民に公表することが必要である。

2 都市交流事業のコーディネート (P39)

交流都市協定を締結する3自治体については、住民レベルの交流を増やすためのイベントや交流自治体の様々な魅力を取り上げる情報発信を行うとともに、交流自治体に対し、区の観光情報を積極的に提供し、多くの人が互いに訪問することにより、相互の地域活性化を図ることが重要である。

くらしと観光課が中心となり、各課が行う都市交流事業をコーディネートし、産業、文化、歴史など幅広い分野において、関係機関と連携を図ることが必要である。

Ⅲ 総括意見（P45）

○ 観光協会の自主的な運営を支援することにより、観光振興事業を一層活性化することについて

観光協会は、昨年、創立 40 周年となり、活動の大きな節目を迎えた。今後は、いたばし花火大会、板橋区民まつり、その他区の委託事業だけでなく、新たな観光資源の発掘や多様な観光振興事業の展開に取り組むことが重要である。

区は、観光協会が独自性を強化し、自主的な組織・財政運営を進めていくために、協会に対する支援のあり方について検討する必要がある。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、区と観光協会が、さらに連携を強化し、観光施策を充実するとともに、おもてなしの体制整備が図られることを期待する。

なお、区との共催事業については、区は、多額の分担金を負担していることから、観光協会は、会計の透明性向上の観点から、実施事業に係る決算報告を広く区民に公表することが必要である。

○ 区の観光資源の魅力や様々な観光情報を積極的に発信することについて

今後増大する外国人旅行者を含め、多くの観光客に対し、多様なツールを活用した情報発信を行うことが重要である。

新たな観光振興ビジョンを実現していくに当たり、インターネットを活用した情報発信の充実や魅力ある観光コンテンツを創出することが求められる。

区は、あらゆる情報ツールを活用し、より積極的・効果的な広報活動を進める必要がある。

都市交流事業については、これまでの交流事業に加え、歴史・文化・産業を含めた新たな都市連携への展開が望まれる。

今後、区は、観光振興事業の展開を通じて、一層、板橋の魅力を高め、地域や産業の活性化を推進することを期待する。